

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	連続体構造小委員会		主 査 名：武藤 厚 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：中島 正愛 主 査 名：小河 利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く曲面構造（屋根シェル、容器、連続体全般）の設計や、既存構造物の性能評価のための研究の推進（全期間中）。 ・ シェルやアーチ構造の実挙動を、基礎実験と数値解析により改めて検証を試み、データベース化を行う（全期間中） ・ 新しい設計手法の検証や、さらなる設計の高度化を目指した活動を行う。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 武藤 厚 (名城大学)、今川憲英 (東京電機大学)、内山 学 (清水建設)、加藤史郎、佐々木睦朗 (法政大学)、高山 誠、西村敏雄、原 隆 (徳山工業高等専門学校)、堀 直人 (国士舘大学)、前田寿朗 (早稲田大学)、真下和彦 (東海大学)、松本慎也 (広島大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	コンクリートの連続性を生かした構造デザイン WG：耐久・耐震・空間可変性に優れた鉛直の面材（耐力壁や扁平な柱）と水平の面材（スラブや床梁）から構成される構造形式について、新たな空間創出のための構造デザインの可能性を探る		
2010 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s13/newpage.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 最新の知見を含んだ耐震設計手法に関する資料のとりまとめが開始された 2. RCアーチに関する各委員による実験・解析は順調に進行している 3. 活動目標全般に渡る情報交換が活発に行われている
委員会活動の問題点・課題	1. WGの成果のまとめ、及び小委員会との調整には検討の余地がある 2. 既往の実験のデータベース化は遅れている 3. 委員会としての成果の公表の検討を開始する時期である